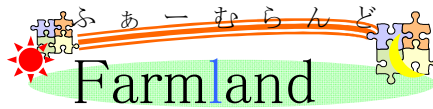




会報



第 20 号

平成 27 年 1 月

「農村の風景フォトコンテスト 2014」

鳥取県農地・水・環境保全協議会会長賞決定

平成 26 年 11 月 20 日「農村の風景フォトコンテスト 2014」の審査会に於いて、厳正な審査の結果、鳥取県農地・水・環境保全協議会会長賞に「人海戦術の砂利あげ」（田村優さん）が決定しました。

審査会では、「農家の方々が作業されている様子に、動きが感じられる」というような講評がありました。

多面的機能支払の活動の場において、多々シャッターチャンスがあると思いますので、記録としての写真も必要ですが、芸術的な写真にも挑戦して頂ければ幸いです。



平成 26 年度多面的機能発揮促進事業において

「瑞穂地区環境を守る会」が中四国農政局最優秀賞を受賞

平成 26 年度多面的機能発揮促進事業に関する中四国農政局長表彰において、「瑞穂地区環境を守る会」が選考委員会において最優秀賞に選定されました。広域での取り組みはもとより、地域のまとまり、各種の農業用施設の管理活動、農家・非農家が共同して取り組んだ農村環境保全活動、また、継続して取り組んでいる施設の長寿命化活動等が評価されたものであります。

表彰式は 1 月 29 日（木）、中四国農政局の会議室で行われ、当協議会も立ち会う中、農政局長より瑞穂地区の代表者へ表彰状が授与されました。

なお、「瑞穂地区環境を守る会」の活動内容について、2 月 5 日に開催されます「平成 26 年度多面的機能支払、中国四国シンポジウム in ご縁の国しまね」で発表される予定となっています。



表彰状授与（中原代表）



地区の全景
中心より北（日本海）
を望む

地区の全景
中心より南（鷲峰山）
を望む



多面的機能支払交付金活動組織向け研修会のご案内

平成27年3月22日（日）ハワイアロハホール（湯梨浜町はわい長瀬）において、上記の研修会が開催されます。内容は、熊本大学文学部総合人間学科の徳野貞雄教授による講演、日本型直接支払の法制化に向けた制度変更の説明のほか、本事業において先に中四国農政局で最優秀賞に選定され局長表彰を受けられた「瑞穂地区の環境を守る会」の事例発表等が行われる予定となっています。時間等詳細につきましては別途市町より案内されると思いますので、多くの組織に参加いただきますようお願いいたします。

鳥取県中部管内の動向 ー組織の広域化に向けてー

支援員 岡本 俊彦

1. はじめに

従来から取りまとめ役や会計を担う人がいないため、取り組みたくても取り組みえない例は多く、この解決策として有力なのが複数の集落で広域化を図ることです。

2. 広域化で期待できること

- ① 事務をまとめて処理でき、事務を担う人材を確保しやすくなる。
- ② 交付金を集中的に計画的に活用できる。
- ③ 国・県等の支援策を活用できる 等です。

3. 鳥取県中部管内での事例

平成27年度に向けて新たな広域化の動きがあります。鳥取県では集落単位の組織化が先行し、広域化は決して容易ではありません。現在進行中の事例ですが広域化の条件をまとめてみました。

<ケース1>

A改良区管内（7集落 200ha）では現在3集落が活動組織を立ち上げています。残り4集落は27年度早々の申請に向けて準備中です。足並みが揃ったところで、広域化の働きかけをする予定です。さらに平行して1地区1農場の組織化を推進する構想もあります。

<ケース2>

B改良区管内（6集落 100ha）では活動組織は1集落のみです。27年度に5集落による広域組織を立ち上げ、現在活動中の組織は協定期間が終了する28年度以降に広域組織に加わる構想です。改良区とほぼ同じ範囲に農事組合法人が組織され、改良区と法人が足並みを揃えて推進中です。

ケース1とケース2に共通するのは

- ① 広域化を進める母体となる組織（改良区、法人、担い手協議会等）があり、改良区中心の推進がされている。
- ② 広域化に向けたプロセスが関係機関で共有されている。
- ③ 生産環境の整備（多面的機能）と担い手の育成（組織化、流動化）を一体的に進めている。

既存の活動組織数や未組織集落数が異なるため、広域化に向かうプロセスに差があります。組織化の現状を考慮しながら広域化を進める上で、今後の参考になる取り組みです。

(参考)

組織の広域化については、国（県）から別途助成措置があります。